

衛生委員会議事録

2024年2月19日 午後3時30分より、東京都千代田区大手町2-2-1 エムシーパートナーズ株式会社内会議室において、エムシーパートナーズ株式会社の衛生委員会を開催した。
(会議室内は事務局3名のみであり、各委員はオンラインにて出席)

出席者	委員（産業医）	古澤 真美
	委員長（衛生管理者）	松村 美奈子
	委員（従業員代表）	櫻井 文代
	同（従業員代表推薦）	徳野 幸枝
	同（ 〃 ）	高梨 雅恵
	同（会社推薦）	川西 治美
	同（会社推薦兼事務局）	松田 明子

開催にあたり、議長より上記のとおり出席を確認し、コロナの感染者も増えていることを耳にしていますので、引き続き無理のないようにお願いします…と挨拶し、衛生委員会を開会する旨を宣し議事に入った。

1. 事務局から「労働災害状況」及び「交通災害状況」について、前月はいずれもゼロ災であった旨報告をした。
2. 次に事務局から、従業員の前月の労働時間について、別紙「3. 時間外労働状況」に基づき前年同月との対比等説明した。1月の平均残業時間は、昨年同月より増えたが、最高時間は減っている。最高残業時間となる該当スタッフは、先月と同一のスタッフであり、データP Jマネジメント、海外とのやり取りでの残業が増えている。スタッフへのヒヤリングを実施予定。休日労働については、前年同月より増えているのは、退職に伴い休日労働が発生した。併せて80時間を超える方はいなかったと報告した。
3. 次に、古澤委員（産業医）から【花粉症治療】をテーマに花粉症の症状で起こる作業効率・集中力の低下、薬局で購入できる薬も増えてきたが、副作用の注意が必要となるため病院受診の必要性、花粉症治療の進化についての講和を頂いた。花粉症治療についての質問・意見等がないことを確認し本会を閉会した。

次回開催日：3月18日月曜日15時30分から

2024年02月

衛生委員会

議題1 安全概況

議題2 労働時間報告

議題3 健康講話

以上

次回 3月18日(月)15:30～

■時間外労働状況					1月
摘 要		当月	前年同月	差異	単位
対象者（パート除く）		67	77	- 10人	
平均労働日数		17.8	18.2	- 0.4日	
平均休日労働日数		0.1	0.0	+ 0.1日	
平均労働時間(年休除く)		127.4	130.3	- 2.9時間	
残業時間	平均	8.5	7.6	+ 0.9時間	
	最高	36.5	39.3	- 2.8時間	
休日労働時間	平均	1.0	0.1	+ 0.9時間	
	最高	28.3	4.3	+ 23.9時間	
残業 + 休日労働	平均	9.4	7.6	+ 1.8時間	
	最高	44.8	39.3	+ 5.5時間	
	80時間超	0	0	+ 0人	
※残業及び休日労働はいずれも所定労働時間に対する値					

花粉症治療、ぜひ病院受診を！

2024年2月 衛生委員会資料

近年、花粉症に悩む人は増え続け、東京都民の有病率は50%近くになるというデータもあります。もはや他人事とはいえ花粉症。社員の皆様でもお困りの方は多いことでしょう。

花粉症で気になるのがその症状自体で起こる作業能率・集中力の低下、また、治療で内服するお薬により、起こる影響も無視できません。アレジオン®など薬効の高い薬も薬局で買えるようになりましたが、副作用への注意が必要です。

花粉症治療は進化していますので、ぜひ、病院受診を！

医療機関での花粉症治療戦略

- ①複数の薬を組み合わせる: 抗ヒスタミン薬だけでなく、抗ロイコトリエン薬、点鼻ステロイド、点眼薬を、患者さんの症状や環境から判断して組み合わせます。
- ②眠くなくても良い時には、効き目の強い薬を選ぶ: 抗ヒスタミン薬は効き目の強さと、眠気の副作用とが、しばしば比例します。
- ③内服ステロイド: 短期間、少量の服用が、眠気の副作用もなく、有効です。
- ④注射薬(ゾレア): 重症の花粉症に対して適応となった、今までとは全く違う効き目の新しい注射薬です。
- ⑤舌下免疫療法
他の治療と違い、花粉症を根本的に治せる可能性のある方法です。
- ⑥耳鼻咽喉科、眼科での局所治療

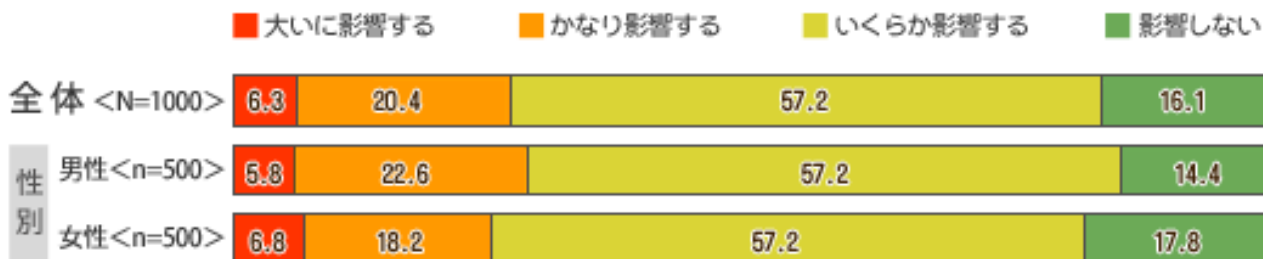


パフォーマンス低下
(集中力・判断力・作業能率の低下)



パフォーマンス低下
(集中力・判断力・作業能率の低下)

花粉症の症状は、車の運転にどの程度影響するか



健康日本21推進フォーラム「ドライバーと『花粉症』に関する調査」(2007年1月)調べ

アレルギーの症状によって低下したパフォーマンスを回復し、ふだん通りのパフォーマンスを取り戻すためには、患者さん一人一人に合った治療でアレルギーのもとをきちんとおさえる必要があります。薬局で売られている飲み薬にはすべて「運転を控えるように」という指示があります。業務で運転する方は病院を受診し、正しい診断に基づいた適切な治療を受けることが不可欠です。**必ず医師や薬剤師に運転することをお伝えください！**